



今に生きる



令和2年度 日進市立日進西中学校 学校だより 夏休み明け号

今に『生きる』時代・生活・学校・・・・。

本日より2学期が始まります。

例年に比べて短い夏季休業でした。生徒たちは、家庭や地域で今までにない夏休みを経験したことでしょう。そして、その経験を「プラスの有り難いもの」と捉えて、これからの学校生活を過ごしてくれることと期待しています。

この25日間の夏休みの前半では、3年間の部活動の締めくくりとなる「引退記念交流戦、演奏会」があり、今までの練習で培った技能、技量のすべてを出し切って、先輩としての立派な姿を後輩の目に刻むことができました。

会場で見られたのは、力の限り戦う3年生と、思いを込めて応援する仲間たち、そして、穏やかな表情で送迎いただいた保護者の皆さま、温かな拍手で演奏を讃えてくださった皆さまの姿です。そのような雰囲気にも包まれることで、校訓「今に生きる」を実践する西中生の精神が受け継がれて来たことを感じるようになりました。

3年生の締めくくりは、いろいろな形になりました。「試合」という形がかなわなかった部活動もあります。それでも、この2年4ヶ月に及ぶ努力と反省が、いつの日かの笑顔と涙が、生きるうえでの「プラスの有り難いもの」として積み重ねられていったことは間違いありません。中学時代に一つの目標に向かって地道に努力を重ねていく姿勢は、将来、必ず実を結ぶと信じています。素晴らしい感動を、ありがとう。

夏休みの後半、「お盆」の帰省も自粛した人が少なくなかったと思います。祖先を大切にしている日本人の気質を十分に満たすことができない「コロナ禍」に何とも言えない淋しさを感じた人もいたことでしょう。日本全体が「With コロナの時代」に生きることを迫られています。「新しい生活様式」を定着させて暮らしていくことも求められています。

さて、今日から再び、学校生活が始まります。「コロナ禍」の制限された教育環境の中で、勉強や運動、行事や部活動に、「今に生きる」西中生として全力で取り組み、大きな「プラスの有り難いもの」を見つけてくれることを期待しています。

2学期のキーワードは、『生きる』です。様々な行事が続くこの2学期、学級や学年で、そして、学校全体で「今に生きる」活動を目指していきましょう。この「コロナ禍」で自分自身が『生きる』ことは大切です。でも、それ以上に周りの人と共に『生きる』ことも考えていきたいです。人と人が関わり合って『生きる』時代。「新しい生活様式」を意識した上で人と人の関わりをつなぎながら『生きる』生活。学校は、それを見つけていく場所です。見つけましょう、みんなで『生きる』学校・・・。

保護者の皆さまにも、様々な行事や活動を支えていただき、心身ともに健やかで、賢くたくましい880名の西中生を育てただけなら幸いです。

2学期も今まで以上に、本校の教育活動に対して、ご理解ご協力をお願いいたします。

(文責 校長 平山 雅之)

